

蓄熱式電気暖房器



マイコンシリーズ

蓄熱式電気暖房器

「蓄暖王」

マイコンシリーズ ファンレスタイプ
(NHKⅡ-1100~3300)

取扱・据付説明書

★この度は、「蓄暖王」マイコンシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

★お使いになる前に、必ずこの取扱・据付説明書をよくお読みください。

★お読みになった後は、大切に保存してください。

目 次

【1】 注意事項	1
【2】 「蓄暖王」の仕組みと特長	3
【3】 構造と各部の名称	4
【4】 操作部の名前と働き	5
【5】 操作方法	6
5-1 現在時刻の合わせ方	6
5-2 蓄熱運転	7
5-3 暖房運転	7
5-4 蓄熱追焚き運転	8
5-5 時刻の確認及び修正	9
【6】 故障かな!?と思ったら	10
【7】 エラー表示が出たら	10
【8】 据 付	12
8-1 据付時の注意事項	12
8-2 据付順序	12
8-3 据付位置決め	13
8-4 前板および脚の取外し	13
8-5 電源の接続	13
8-6 本体の固定（転倒防止金具取付）	14
8-7 蓄熱レンガ組込	15
8-8 チェックリスト	17
8-9 試運転	18
【9】 補足説明	19
9-1 安全装置	19
9-2 電気回路図	19
【10】 点検、アフターサービス	20
【11】 標準仕様	21

注意 1 注意事項

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



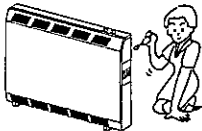
⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

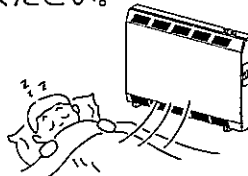
警告

分解したり修理・改造は絶対しないでください。



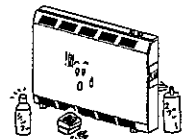
発火、感電、やけどの原因となります。暖房器の内部は約700℃の高温になり非常に危険です。（修理は販売店または当社へご相談ください。）

本体の近くに衣類やふとん等の燃えやすいものを置かないでください。



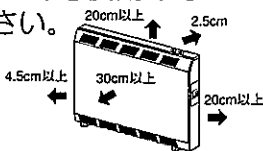
（火災の原因となります。）

暖房器の周辺にスプレー缶（ベンジン等の引火物）及び燃えやすいものを置かないでください。



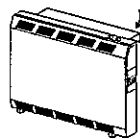
（火災の原因となります。）

カーテン等の燃えやすいものの近くで使用しないでください。



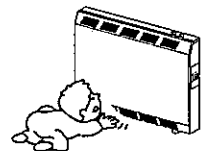
（必ず決められた距離を取ってください。取らない場合、周囲の物が、変形、変色する原因となります。また、火災の原因となります。）オープン設置の場合

地震等による転倒を防止するために、付属の転倒防止金具を取付けてください。

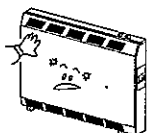


（揺れの大きさによっては、暖房器が転倒することがあり、けがの原因となります。）

乳幼児や身体の不自由な方は、付き添えなしでは使用しないでください。また、暖房器には近づかせないでください。

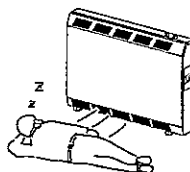


暖房中は、操作部以外の本体表面及び温風吹出口付近には触れないでください。



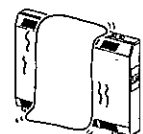
（やけどの恐れがあります。）

暖房器のすぐ前で寝込まないでください。

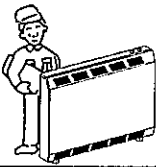
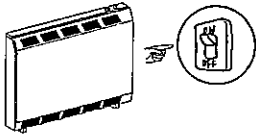

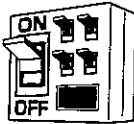
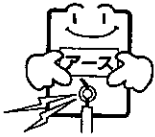
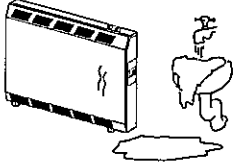
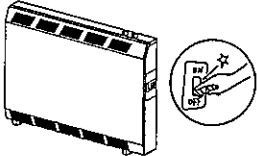
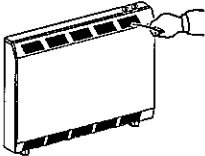
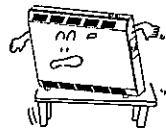


（低温やけどや脱水症状を引き起こす恐れがあります。）

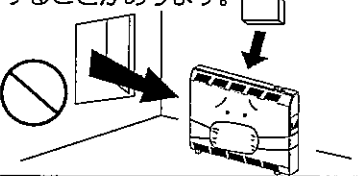
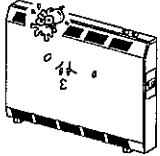
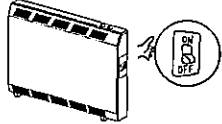

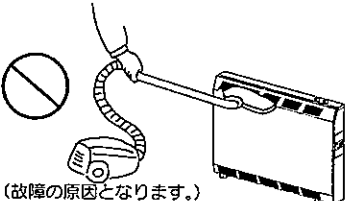
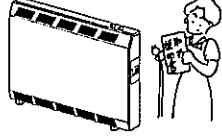
温風吹出口や吸込口・放熱グリルを塞がないでください。



（故障や火災の原因となります。）

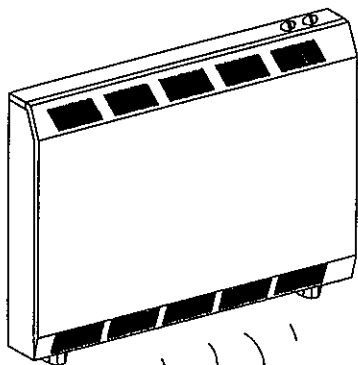
<p>据え付け工事は、必ずお買い上げ販売店または専門業者（電気工事士）に依頼してください。</p> 	<p>蓄熱式電気暖房器それぞれ単独にブレーカーの取り付けが必要となります。</p> 	<p>暖房器の上に物を乗せたり、腰をかけたりしないでください。</p>  <p>(パネルを变形すると部分的に温度が上昇し、故障の原因となります。)</p>
<p>ブレーカーは定格容量（アンペア）以上のものを使用してください。</p> 	<p>アース線は必ず接続してください。</p>  <p>(取り付けられていないと、感電や故障の原因となります。)</p>	<p>湿気の多い(水のかかるおそれのある)場所で使用しないでください。</p>  <p>(感電や故障の原因となります。)</p>
<p>点検や修理の時は、必ずブレーカーを「切り」にしてください。</p>  <p>(感電の恐れがあります。)</p>	<p>温風吹出口や吸込口に針金等の金属物、異物を入れてください。</p>  <p>(感電や故障の原因となります。)</p>	<p>カーペット、畳の上等の不安定な場所には直接設置しないでください。</p>  <p>(必ず敷板、板畳等の加工を施した後、設置してください。)</p>

⚠ 注意

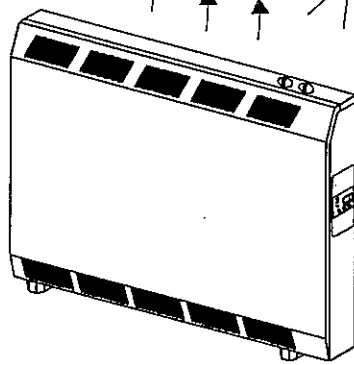
<p>厳寒期に換気扇等を連続運転したり、換気孔や窓を開け放しにしておくと熱が奪われ、蓄熱量が不足することがあります。</p> 	<p>水をかけたり、お茶等をこぼさないでください。</p>  <p>(故障や感電の恐れがあります。)</p>	<p>長期間ご使用にならない場合や、異常がある場合は、必ずブレーカーを「切り」にしてください。</p> 
<p>電源コードを引張ったり、折ったり、無理に曲げたりしないでください。</p>  <p>(感電や火災の恐れがあります。)</p>	<p>暖房運転中は掃除機等で吸込口、吹出口を吸込まないでください。</p>  <p>(故障の原因となります。)</p>	<p>この商品を他の人に売ったり、譲渡する場合はこの取扱・据付説明書を必ず添付してください。</p> 

2 「蓄暖王」の仕組みと特長

「蓄暖王・マイコンシリーズ」は、深夜の安い電力を利用して、蓄熱レンガに熱をため（約700℃）、この熱を放熱調節により、取り出して暖房する「蓄熱式電気暖房器」です。蓄熱式電気暖房器は、火を使わず室内の空気を汚さない、安全でクリーンな暖房器です。マイコン搭載でさらに賢く、経済的です。



蓄熱



暖房

電気エネルギーだから、とても安心。

熱源は、電気エネルギー。燃料漏れ等による火災などの心配がありません。空気をよごさないで、おやすみの時も安心です。

タイマー内蔵

本製品はタイマーが内蔵されています。時間常別電灯および深夜電力のどちらでも使用できます。

いつまでも続く陽だまりのようなあたたかさ。

ほのほのとうれしい蓄暖ならではのマイルドなあたたかさ。一日中陽だまりのような心地良い暖さがあなたをつつみます。

カンタン操作で、お部屋はいつでもぽかぽか。

上面の蓄熱量つまみをセットするだけ。後はお好みに応じて、放熱量を調整。

追焚き機能

万一、蓄熱量が不足した時も最大2時間(自動的に切れます。)追焚きすることが可能です。

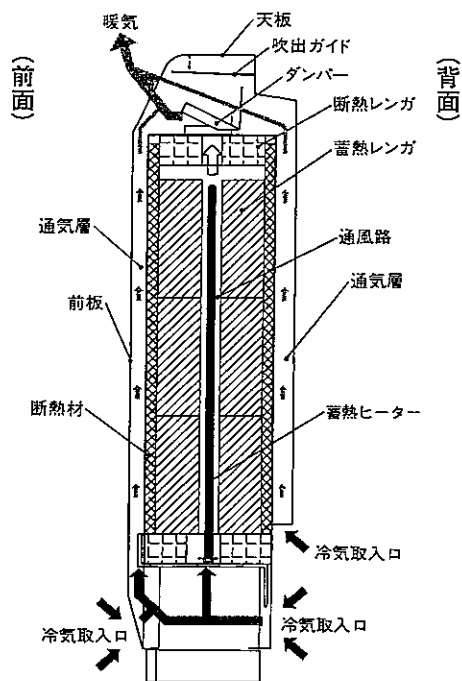
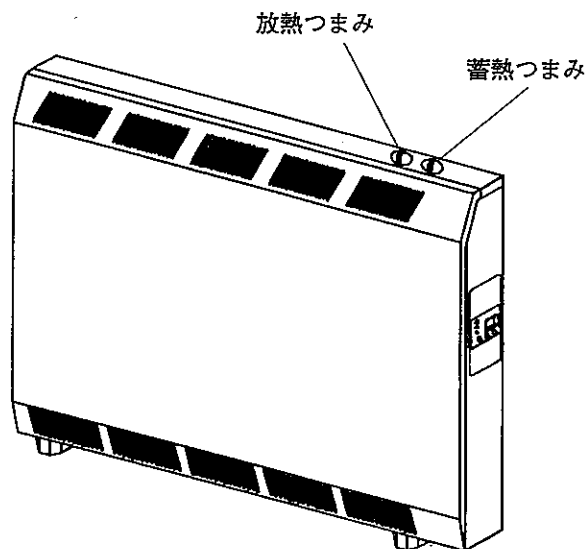
※時間常別電灯でご使用の場合に限ります。

マイコン搭載でさらに賢く経済的。

マイコン割引対応で一段とランニングコストが安くなりました。

※電力会社によって、割引の有無がありません。必ずご確認ください。

3 構造と各部の名称

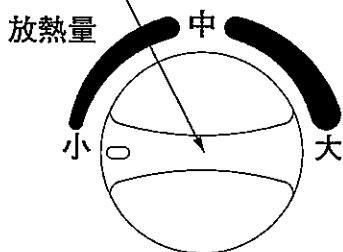


付属品

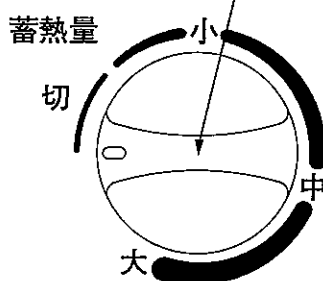
機種	蓄熱レンガ数量	壁取付用木ネジ	床取付用木ネジ
NHKⅡ-1100	6ヶ (3パック)	6本	2本
NHKⅡ-2200	12ヶ (6パック)		
NHKⅡ-3300	18ヶ (6パック)		

4 操作部の名前と働き

放熱つまみ
・放熱量を設定します。



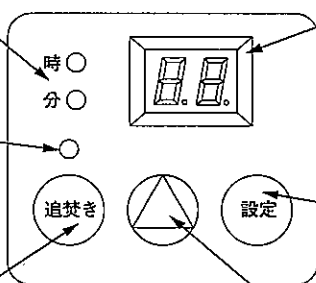
蓄熱つまみ
・蓄熱量を設定します。



表示ランプ
・時刻あわせをする際に点灯します。

蓄熱ランプ
・暖房器が蓄熱している間点灯します。

追焚きスイッチ
・スイッチを押すと2時間蓄熱運転を行います。もう一度押すと解除されます。



表示部
・時刻あわせをする際に、時刻を表示します。
・異常発生時、エラーを表示します。

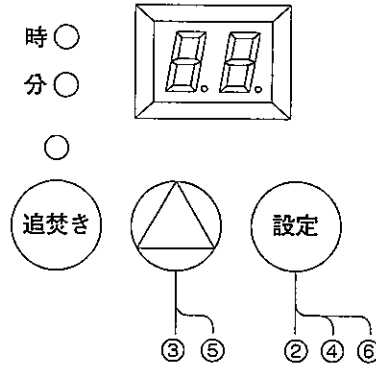
設定スイッチ
・現在時刻の表示及び修正を行う場合に使用します。

選択スイッチ
・時または分を設定、修正する場合に使用します。

5 操作方法

5-1 現在時刻の合わせかた

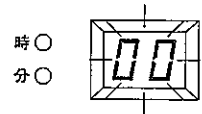
・蓄熱暖房器の機能を正しくお使いいただくため、始めに暖房器の時刻を現在時刻に合わせます。



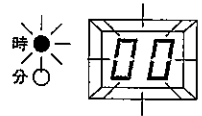
例 19時56分に合わせる。

①100V及び200Vの電源を入れます。

マイコンの自己診断が始まります。その後、初期表示となります。

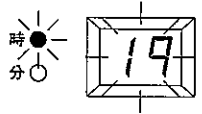


②「設定」スイッチを1秒間押します。

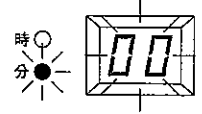


③「△」スイッチを押して「時」を合わせます。

押し続けると数字は早く変わります。

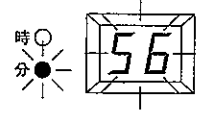


④「設定」スイッチを押します。



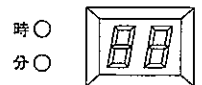
⑤「△」スイッチを押して「分」を合わせます。

押し続けると数字は早く変わります。



⑥「設定」スイッチを押すと、全ての表示が消え、

時刻合わせを終了します。



△ 注意 ・暖房器の時刻がずれると、電気代が高くなる場合があります。
・時刻は24時間表示ですので、午前と午後を間違えないようにしてください。

5-2 蓄熱運転

- 蓄熱量の設定を行い、蓄熱します。

蓄熱量		
目盛	設定の目安	蓄熱の割合
大	真冬	100%
中	初春・晩秋	60%
小	春・秋	20%

蓄熱量の設定

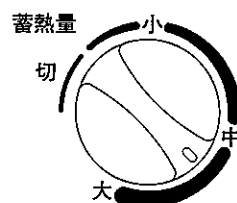
「蓄熱」つまみで、蓄熱量を設定します。

- ※蓄熱量を無段階に調整できます。小～大まで季節に合わせて設定してください。

(上の表を参考に設定してください。)

- ※蓄熱は深夜の23:00から朝の7:00に行われます。

蓄熱中は蓄熱ランプが点灯します。

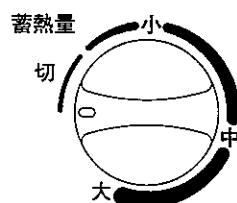


蓄熱の停止

蓄熱を停止する場合は、「蓄熱」つまみを「切」の位置まで回してください。

- ※長期間停止する場合は200Vブレーカーを切ってください。

その際も、「蓄熱つまみ」は「切」に合わせてください。



- △ 注意
- 蓄熱は設定したその日の夜間に行われます。最初の暖房は翌日から可能となります。
 - 蓄熱量の設定は夜23:00 (PM11:00) 時点の「蓄熱」つまみの位置で決まります。
 - 23:00以降に蓄熱量を変えても、設定は変更されません。

5-3 暖房運転

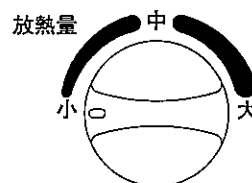
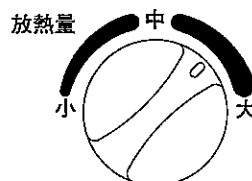
- 放熱量を設定し、蓄熱された熱を利用して暖房を行います。

放熱量の設定

「放熱」つまみをお好みの位置に合わせてください。

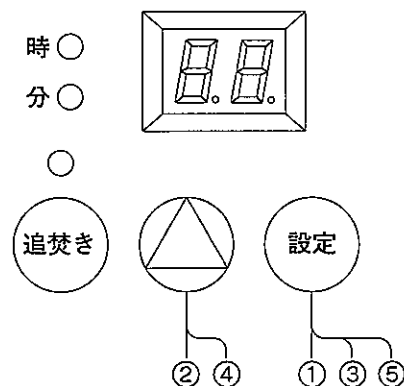
- ※小～大の範囲で放熱量を調整することが出来ます。

暖房（放熱）を弱める場合は、「放熱」つまみを「小」にしてください。

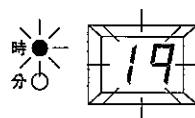


5-5 時刻の確認及び修正

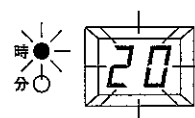
・時刻の確認及び修正は次のように行います。



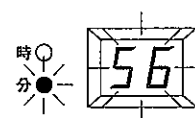
- ① 「設定」スイッチを1秒間以上押します。
時間が表示されます。



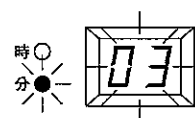
- ② 「時」がずれている場合、「△」スイッチを押して修正します。
押し続けると数字は早く変わります。



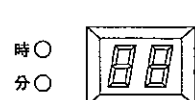
- ③ 「設定」スイッチを押します。
分が表示されます。



- ④ 「分」がずれている場合、「△」スイッチを押して修正します。
押し続けると数字は早く変わります。



- ⑤ 「設定」スイッチを押すと、全ての表示が消え、時刻の確認を終了します。



△ 注意・暖房器の時刻がずれると、電気代が高くなる場合があります。
・時刻は24時間表示ですので、午前と午後を間違えないようにしてください。

6 故障かな!?!と思ったら

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても症状が改善されない場合や、この表以外の症状が発生した場合は、お買いあげの販売店または当社にご相談ください。

症 状	調べるところ	対処方法
A.暖房器が温まらない	ブレーカーが「切」になっていませんか?	100V・200Vのブレーカーを入れてください。
	暖房器の時刻を合わせましたか?	時刻を正しく合わせてください。
	蓄熱つまみが「切」または、低い設定になっていませんか?	お好みの蓄熱量に設定してください。
B.部屋が暖まらない	まずAの項目をご確認ください。	
	放熱つまみの設定が低くありませんか?	放熱量の設定を大きくしてください。
	換気扇が回っていませんか?	換気の必要がない時は換気扇を切ってください。
C.わずかに、においや煙が出る	初めてお使いになる時、あるいは、長時間蓄熱を止めていたときには、ほこりや湿気で臭いが出ることがあります。	
D.エラー表示が出る	次項の「7 エラー表示が出たら」を参照してください。	

7 エラー表示が出たら

本機は自己診断機能を持っています。

暖房器に異常が発生した場合、表示部にエラーコードが表示されます。その後自動的に蓄熱と暖房運転を停止します。

エラーコード表

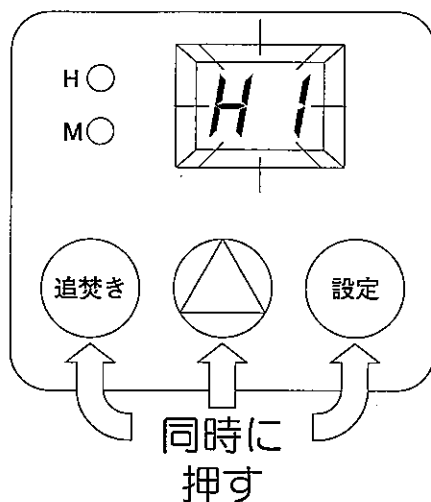
エラーコード	異常内容
H1	蓄熱レンガ温度異常 (750℃以上)
H2	蓄熱センサー異常
H4※1	200V未通電・蓄熱センサー異常
H6※2	内部メモリー異常

※1：エラーコード「H4」は、200V電源が通電されない状態で、「蓄熱」つまみが「小」以上に設定されていると出ます。一度、200Vブレーカーと「蓄熱」つまみの設定を確認してください。

※2：エラーコード「H6」が出た場合には、エラー解除後暖房器が初期状態に戻ります。現在時刻を再度設定してください。

エラー表示の止め方

エラーの原因となった異常状態が正常状態に戻っている場合は、以下の操作でエラー表示の点滅が停止し、正常運転に戻ります。



「設定」「△」「追焚き」スイッチを同時に3秒間以上押す。

△ 注意 正常な状態に戻っていない場合、エラー表示は消えません。また、表示が消えても同じエラーが再表示される場合があります。エラー表示をご記憶の上、すみやかに100V及び200Vの電源を切ってください。その後、販売店もしくは当社までご連絡ください。

注意 8 据 付

8-1 据付時の注意事項

ここではご使用いただくお客様ではなく、電気工事店の方々への注意事項を記載しております。

- ①壁、家具、棚等から所定の離隔を取った状態で設置してください。

(8-3据付位置決め参照)

周囲を壁や棚で塞ぎ、十分な離隔が取られていないと故障の原因となります。家具、壁が変質または、火災の原因となる恐れがあります。

- ②必ず本体を床・壁に固定してください。(8-6本体の設置を参照)

- ③必ずアースを接続してください。

- ④本体を組み立てるネジは確実に固定してください。

(8-7蓄熱レンガ組込を参照)

- ⑤断熱材は慎重に取り扱ってください。

(8-7蓄熱レンガ組込を参照)

断熱材を破損させたり、変形させた場合はそのまま使用しないでください。熱漏れ等により表面が高温になり、故障の原因となります。

8-2 据付順序

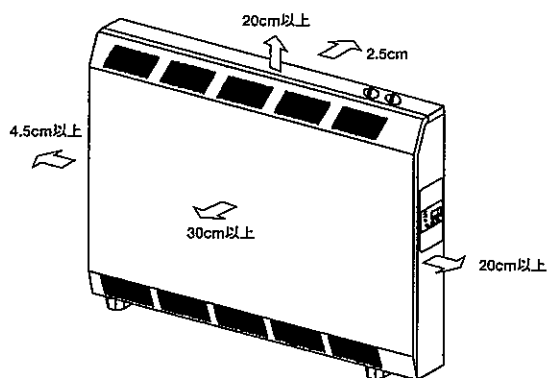
- ①据付位置決め ②前板および脚の取外し ③電源の接続
④壁固定金具及び脚の取付 ⑤本体の固定 ⑥蓄熱レンガ組込

8-3 据付位置決め

●本体据付位置の確認

壁・カーテン・家具等に対して離隔を取ってください。十分な離隔が確保されていないとカーテン・家具等が変色する恐れがあります。

【目安となる離隔距離】

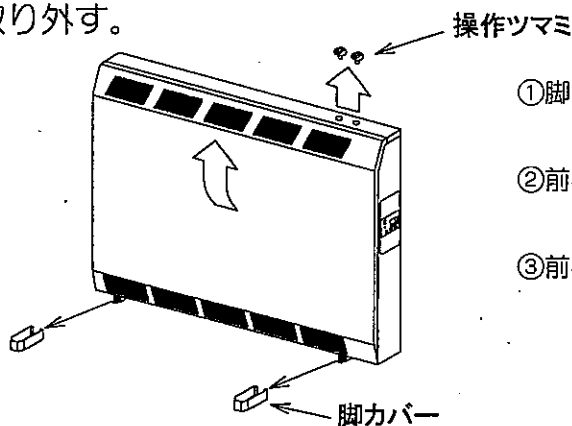


⚠ 注意事項

- ・カーペット・クッションフロア・畳の上には直接設置しないでください。
- ・カーペット上に設置する場合は化粧板等の板を敷いた上に設置してください。

8-4 前板および脚の取外し

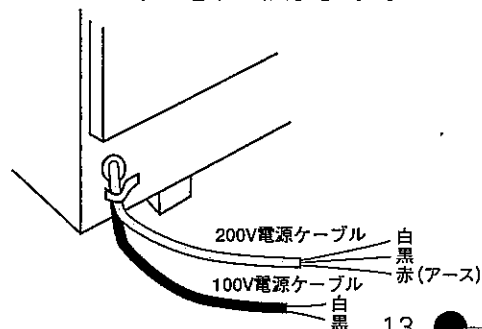
前板を取り外す。



- ①脚カバーとつまみを取り外す
- ②前板下部、左右のネジを取り外す
- ③前板下部へ手をかけ、持ち上げる

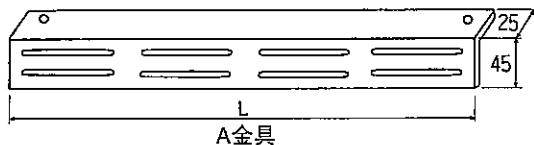
8-5 電源の接続

- ・本体裏面に付いている200V用耐熱キャブタイヤケーブル(3.5mm²×3C)と100V用耐熱キャブタイヤケーブル(0.75mm²×2C)を、電源ボックスの屋内配線と接続する。
- ・蓄熱式電気暖房器それぞれ単独にブレーカーの取付が必要となります。ブレーカーは、定格容量以上のものをご使用ください。



8-6 本体の固定（転倒防止金具取付）

一般的な一戸建住宅で固定する場合を想定しています。高層マンションや高層団地などに設置する場合は、「耐震転倒防止金具設置設計計算」に基づいた内容で固定してください。地震等による転倒を防止するため、付属の壁取付用木ネジ・床取付用木ネジを使用して確実に固定してください。

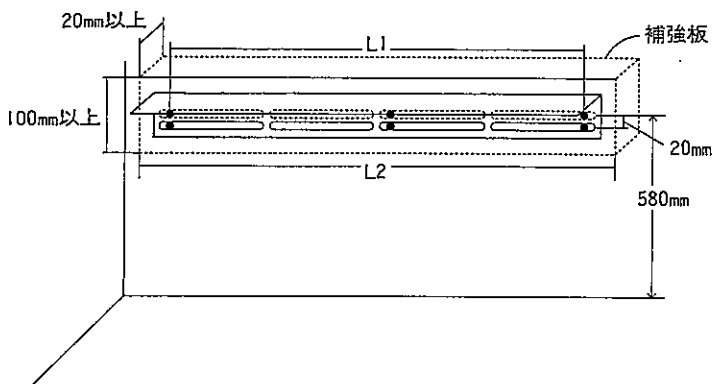


①A金具を壁に固定する。

（注）建設段階で壁に補強板〔幅100mm以上×厚さ20mm以上×長さ（L2下表）〕を準備してください。

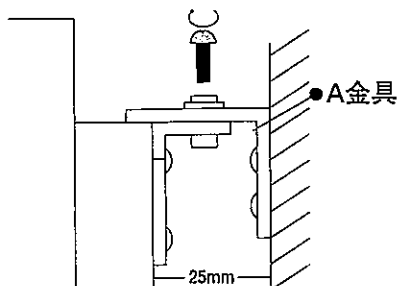
壁固定金具の取付方法。

図の様に壁固定金具の両端に上下6本を止めてください。

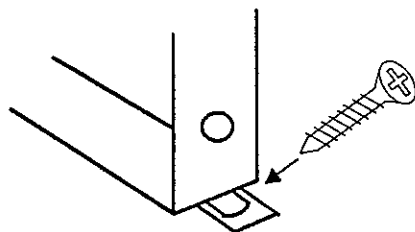


機種	上1寸法	上2寸法
NHKⅡ-1100	316mm	356mm
NHKⅡ-2200	629mm	669mm
NHKⅡ-3300	942mm	982mm

②本体を最適な位置に設置し、A金具と本体側固定金具をネジ（M5）で止めてください。

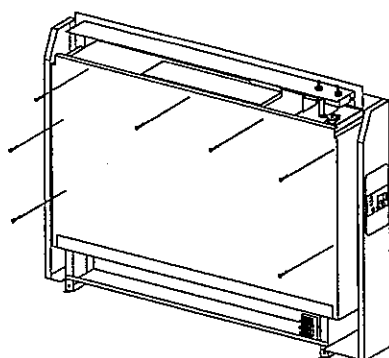


③本体の脚部分を床面に固定してください。……下図

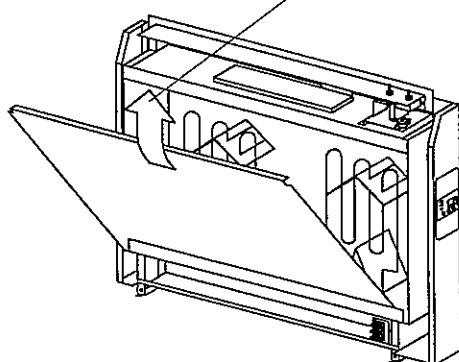


8-7 蓄熱レンガ組込

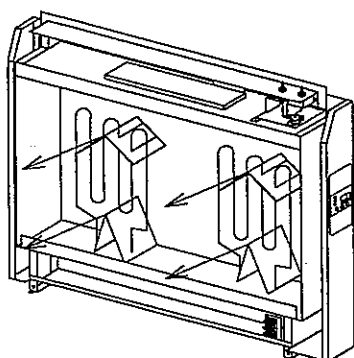
①内前板を外す。



※内前板を持ち上げて外す。



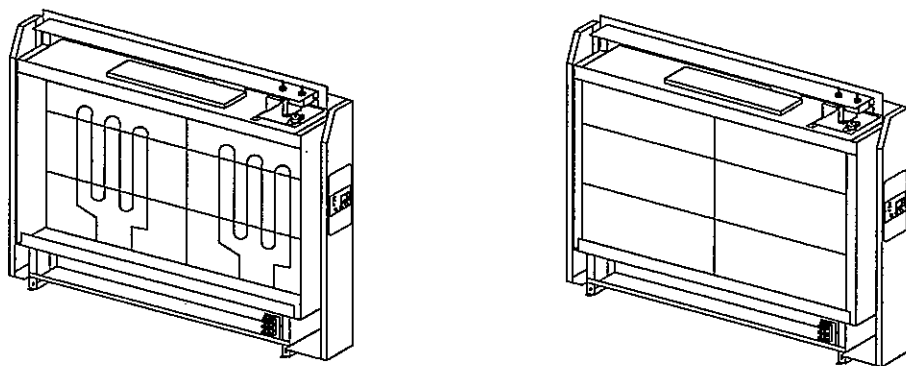
②ダンボールを外す。



③蓄熱レンガを組込む。

蓄熱レンガは凸凹がある面と平らな面とがあります。凹凸面がヒーターに接するようにしてください。

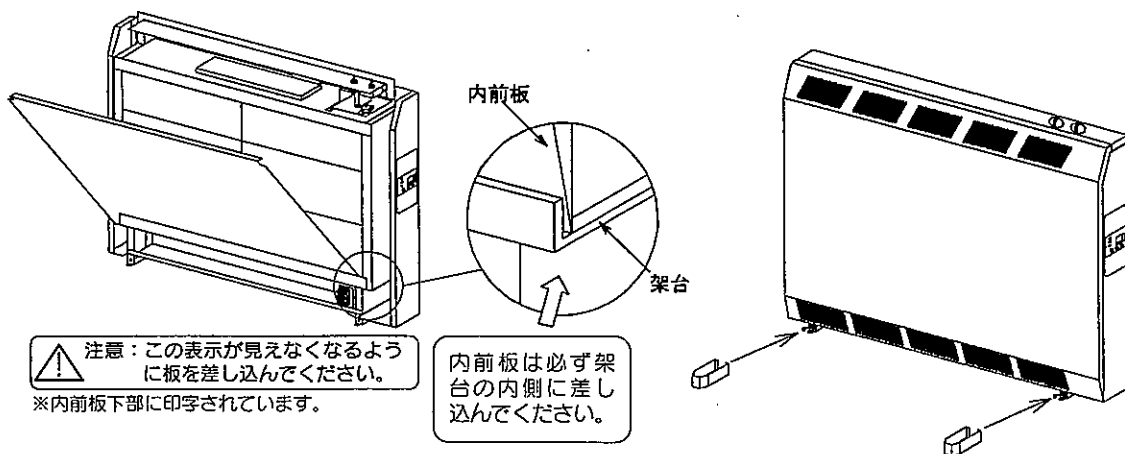
蓄熱レンガは前後からヒーターをはさむように後側→前側の順に組み込んでください。



機種	レンガ使用数	ヒーター本数
NHKII-1100	6	1
NHKII-2200	12	2
NHKII-3300	18	3

④内前板を差し込んでください。

⑤前板と脚カバーとツマミを取り付けてください。



8-8 チェックリスト

項目	チェック内容	チェック欄
1	本体設置位置の確認。壁、カーテン、家具等に対して十分離隔を確保したか。 (右側面20cm以上 上方20cm以上 後方2.5cm 前方30cm以上 左側面4.5cm以上)	
2	本体付属の耐熱ケーブルと屋内配線を確実に接続したか。 (100V、200V配線の接続間違いはないか)	
3	壁に転倒防止金具を規定の壁取付用木ネジ(6本)・床取付用木ネジ(2本)で確実に固定したか。	
4	本体と壁固定金具はM5ネジで確実に固定したか。	
5	レンガを組み込む際、蓄熱ヒーターを誤って曲げたりしていないか。 レンガは後側から組み込み、ヒーターを確実に挟み込んだか。	
6	断熱材を組み込む際、破損や変形はしていないか。	
7	内前板は、架台の内側に差し込んだか。また内前板下部に印字されている文字が見えなくなるまで差し込んだか。	
8	ネジの締め忘れ、ゆるみはないか。	

8-9 試運転

据付が終わった後、必ず試運転を行い暖房器が正常か確認してください。

①絶縁抵抗を測定してください。

電気用品安全法（旧電気用品取締法）に基づく技術基準により、暖房器の絶縁抵抗は1MΩ以上（500V絶縁抵抗計にて）となっております。しかし、使用開始時や長期間放置されたときには、蓄熱体などが結露により吸湿して、絶縁抵抗が低下（0.2MΩ以下）し、漏電ブレーカーが動作する場合があります。このような場合は、暖房器を十分に乾燥させ、絶縁抵抗が回復していることを確認の上、再度通電してください。

②100V電源を通電し、暖房器の時刻あわせを行ってください。

③200V電源を通電し、「蓄熱」つまみを「中」に合わせ「追焚き」スイッチを押し、所定の電流（下記参照下さい）が流れることを確認してください。測定後、「追焚き」スイッチを再度1秒間押し、追焚きを解除してください。

機 種	NHKII-1100	NHKII-2200	NHKII-3300
電流 (A)	4.9~6.1	9.9~12.1	14.8~18.2

④試運転終了後は、「蓄熱」つまみを「切」の位置に合わせてください。

10 点検、アフターサービス

点検・お手入れ

暖房器を永く快適にご使用していただくために、ときどきお手入れが必要です。

△ 点検、お手入れの際は、1ページの注意事項を守ってください。

- ① 暖房器底部のすき間は綿ボコリがたまりやすく、そのままでは暖房能力が低下する恐れがあります。時々、掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。
△ 暖房運転中はやめてください。200Vブレーカーを「切」にして、暖房器を冷してから掃除をしてください。
- ② 本体表面のほこりや汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。ベンジンやシンナー等は表面の塗装を傷めますので、使用しないでください。
- ③ 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要となります。2シーズンに1回程度、お買上げの販売店または当社に点検依頼されることをおすすめします（有料）。

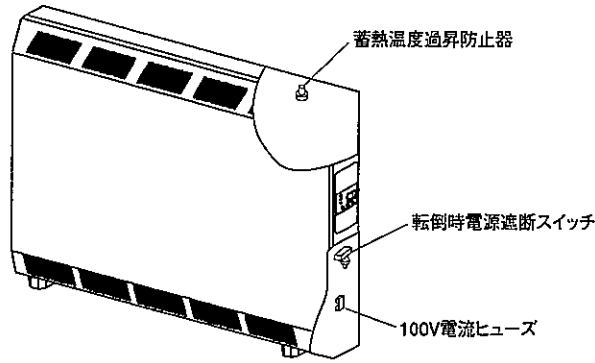
アフターサービスについて

- ① この商品の保証書は、裏面に添付しております。保証書は必ず「お買上げ年月日」と販売店名等、所定事項をご確認の上、大切に保管してください。
- ② 保証期間中（2年）に修理を依頼される時は、お買上げの販売店または当社までご連絡ください。保証書の内容に従って修理いたします。
- ③ 保証期間経過後の修理についても、お買上げの販売店または当社にご相談ください。有償修理いたします。なお、交換用部品は、本製品の生産終了後も、10年間は供給いたします。
- ④ 製品に異常のある場合、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは絶対にやめてください。大変危険です。
- ⑤ 修理などアフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店または当社までお問い合わせください。

9 補足説明

9-1 安全装置

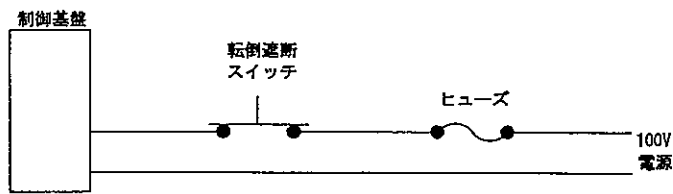
本器には以下の安全装置が搭載されております。



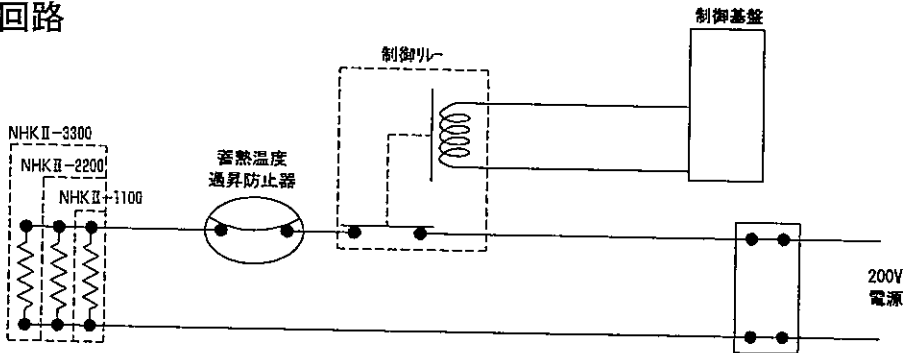
安全装置	動作条件	制御内容	復帰方法
蓄熱温度過昇防止器	140℃	蓄熱運転停止	前板を外し、リセットスイッチを押す
100V電流ヒューズ	1A	蓄熱運転停止	前板を外しヒューズ交換
転倒時電源遮断スイッチ	手前25°以上傾斜	蓄熱運転停止	元の状態に戻す

9-2 電気回路図

100V回路



200V回路



11 標準仕様

項目		NHK II-1100	NHK II-2200	NHK II-3300
蓄熱	蓄熱方式/ 有効蓄熱量 (MJ) ^{※1}	8時間蓄熱型/24.1	8時間蓄熱型/48.2	8時間蓄熱型/72.2
	蓄熱効率 ^{※2}	76%	76%	76%
暖房方式		自然放熱型		
定格	単相200V	1.1kw	2.2kw	3.3kw
容量	単相100V	5W		
形状	横幅 (mm)	470	783	1,096
	高さ (mm)	635		
	奥行 (mm)	165 (190) (壁固定金具含む)		
本体 (総重量) kg 〈 〉蓄熱レンガのみ		57 〈41〉	108 〈82〉	158 〈122〉
蓄熱レンガ数量		6	12	18
材質	蓄熱レンガ	酸化鉄系		
	断熱材	シリカ・アルミナ系断熱材 (マイクロサーム)		
制御	蓄熱量	切、小～大無段階設定 (操作部上面)		
	放熱量	小～大無段階設定 (操作部上面)		
安全装置		蓄熱温度過昇防止器 転倒時電源遮断スイッチ 電流ヒューズ (1A)		
本体カラー		アイボリー系		

※1 有効蓄熱量＝定格容量×通電時間×蓄熱効率×3.6 (1kw=3.6MJ)

※2 8時間蓄熱時
停電補償1.5時間 (時計機能)

■仕様の一部をおことわりなく、変更することがあります。

蓄熱式電気暖房器 保証書

(保証期間 2ヶ年)

(型式)	(お買上げ年月日) 平成 年 月 日
(製造番号)	お客さま (ご住所) (お名前)
(お買上げ店名)	

1. お買上げになった日の翌日から起算して2年以内に電気部品、その他機能部品の材料、または製造上の欠陥により故障のあった場合には無償で故障部品の修理、交換をします。
2. 次の場合は保証期間内であっても保証の責を負いません。
 - (1) 誤った使用をされた場合
 - (2) 不当な修理および改造をされた場合
 - (3) 地震、火災、その他天災によって生じた故障あるいは損傷
 - (4) 本保証書のご提示がない場合
3. 保証修理、交換後の保証期間は、最初の保証期間の残りの期間といたします。
4. 故障が生じた場合には、お買上げの店または当社までご連絡ください。尚、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費を申し受けます。
5. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

 **北日本電線株式会社**

ヒーティング事業部 〒989-1761

宮城県柴田郡柴田町大字葉坂字白坂54-1

TEL 0224(58)7259 FAX 0224(58)7280